

本学数理物質系 関口章教授が「WACKER Silicone Award 2014」を受賞！
～ケイ素化学分野における顕著な業績～

国立大学法人筑波大学 数理物質系 関口章教授が、有機ケイ素化学研究において顕著な業績を納めた科学者に贈られる「WACKER Silicone Award 2014(ワッカーシリコン賞)」を受賞し、8月4日、ドイツベルリン市で開催された ISOS XVII BERLIN 2014 - The 17th International Symposium on Silicon Chemistry (7th European Silicon Days 併催)において、授賞式が行われました。

関口教授は、今日まで一貫して低配位有機ケイ素化学の研究に取り組み、250 報以上の論文を発表しています。中でも、2003 年のケイ素-ケイ素三重結合化合物(ジシリン)の合成は、20 年以上にわたる研究の末、それまで不可能とされてきた反応を世界で初めて実現し、ケイ素化学における極めて画期的なマイルストーンとして化学の歴史に名を刻みました。また、官能性二重結合ケイ素化合物の合成、ケイ素陽イオン(カチオン)および安定なケイ素遊離基(ラジカル)の合成、テトラシラシクロプロタジエン遷移金属錯体の創製、など、未踏の有機ケイ素化学の開拓に多大な貢献をしてきました。さらに近年は、ケイ素ラジカルを活用した新しいタイプの蓄電池の開発にも成功しています。これらの業績が認められ、今回の受賞となりました。



【写真左】左から、ワッカー社シリコン事業部長 クリスティアン・ハーテル博士、関口教授、ワッカー社代表取締役 ルドルフ・シュタウディーゲル博士(写真提供:Wacker Chemie AG)

【写真右】授賞式でスピーチをする関口教授

ワッカーシリコン賞について

ワッカーシリコン賞は、ドイツを拠点とする世界的な化学会社 Wacker Chemie AG が 1987 年に設立した国際賞(隔年で授与)で、米国化学会のキッピング賞と並んで、有機ケイ素化学分野で最も荣誉ある賞とされています。日本人としては、櫻井英樹 東北大学名誉教授(1991 年)、吉良満夫 東北大学名誉教授(2005 年)に次いで、関口教授が 3 人目の受賞となります。なお関口教授は、2006 年にキッピング賞も受賞しています。

関口章教授 略歴

- 1952年 群馬県生まれ
- 1981年 筑波大学化学系 助手(理学博士)
- 1985年 米国ウィスコンシン大学化学科 博士研究員
- 1987年 東北大学理学部 助教授
- 1996年 筑波大学化学系 教授
- 2004年 筑波大学大学院数理物質科学研究科 教授
- 2011年 筑波大学数理物質系・化学域／学際物質科学研究センター 教授
- 2012年 ケイ素化学協会 会長

【主な受賞歴】

- 1996年 日本IBM科学賞
- 2004年 フンボルト賞
- 2006年 アメリカ化学会賞(キッピング賞)
- 2012年 日本化学会賞
- 2014年 紫綬褒章

問い合わせ先

関口 章(せきぐち あきら)
筑波大学 数理物質系 教授

筑波大学広報室

Email: kohositu@un.tsukuba.ac.jp

Tel: 029-853-2039